

令和6年3月27日審議		
1	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-38 多系統萎縮症の病態解明と早期診断法の確立	
	研究の概要	MSAに特徴的な脳萎縮のパターンを検討するとともに、睡眠時無呼吸や起立性低血圧と関連のある脳部位および、神経心理学的検査と脳容積に関連のある脳部位を同定する。これにより、MSAの診断精度の向上につながる可能性がある。また、自律神経障害と認知機能障害の神経基盤を検証することにより、MSAの病態機序の解明に迫ることができる可能性がある。
	判定	承認 本申請は承認された。
2	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-39 脳神経疾患における脳構造と脳機能の評価	
	研究の概要	脳神経疾患に特徴的な脳萎縮、脳機能障害のパターンを検討する。これにより、診断精度の向上につながる可能性がある。また、各種臨床症状の責任病巣と神経基盤を検証することにより、脳神経疾患の病態機序の解明に迫ることができる可能性がある。
	判定	承認 本申請は承認された。
3	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-40 認知症病態に関する液性・画像データベース研究	
	研究の概要	血液（あるいは髄液）バイオマーカーとアミロイドやタウの画像バイオマーカーを比較検証する目的で、それぞれをデータベース化して、認知症の病態初期の描出システムを開発する。
	判定	承認 本申請は承認された。

令和6年3月27日審議		
4	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-41	軽度認知機能障害(軽症認知症を含む)の人の全国的な情報登録・連携システムに関する研究(ORANGE-MCI)
	研究の概要	認知症の新規治療薬の開発、そして、認知症発症の危険因子の検証のため、認知症症例の年齢や病期、経過に関する臨床情報の登録と連携システム構築を目的としている。
	判定	承認 本申請は承認された。
5	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-42	浜松PET診断センターにて撮像されたPET画像を利用した、脳神経疾患の後方視的評価
	研究の概要	浜松PET診断センターにて撮像されたPET画像と、当院で採取した臨床データとの関連を後方視的に検討し、神経症状の責任病巣と神経基盤を検証することにより、脳神経疾患の病態機序の解明に資することである。
	判定	承認 本申請は承認された。
6	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-43	未発症/発症超早期の家族性(遺伝性)プリオン病の臨床調査研究
	研究の概要	早期診断基準の作成に必要なエビデンス構築のため、遺伝性プリオン病の発症を待たず発症リスクの保有を把握できる遺伝性プリオン病に着目し、発症前または発症超早期の遺伝性プリオン病の発症リスク保有者の把握及びその未発症の症例の画像検査及び生体材料を採取し、リスク保有者の発症に至る経緯を解明し、早期診断基準の有効性を検証する。
	判定	承認 本申請は承認された。

令和6年3月27日審議		
7	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-44	頭部MRIの正常データベースの作成
	研究の概要	正常ボランティアに頭部MRIを施行し、頭部MRIの信号値の正常値を作成するとともに、健常者の脳機能の特徴を確認することである。これにより、脳神経疾患症例と正常データベースとの比較が可能となれば、診断精度の向上につながる可能性がある。
	判定	承認 本申請は承認された。
8	申請者	生理・薬理研究室長 寺田 達弘
	2023-45	[11C]BU99008 PETトレーサーを用いた神経・精神疾患への脳病態研究
	研究の概要	患者の紹介先である当院の共同連携施設、浜松医科大学および浜松PET診断センターで、倫理委員会に承認された多施設共同研究において撮像されたPET画像と、当院で採取した臨床データとの関連を検討するものである。
	判定	承認 本申請は承認された。
9	申請者	副院長 小尾 智一
	2023-46	余剰脳脊髄液中の、 $A\beta$ 42蛋白の測定 Measurement of the $A\beta$ 42 protein in surplus cerebrospinal fluid.
	研究の概要	2003年から現在まで、軽度認知障害の前方視的・後方視的研究をおこなっており、対象患者の脳脊髄液中のタウ蛋白、リン酸化タウ蛋白、 $A\beta$ 42蛋白の測定をおこなっている。今回、脳脊髄液中のタウ蛋白、リン酸化タウ蛋白の測定が保険適応となったため $A\beta$ 42蛋白の測定のみについて研究を継続したい。
	判定	承認 本申請は承認された。

令和6年3月27日審議		
10	申請者	治験主任 山本 吉章
2023-47 認知症治療薬の個別化治療を目的とした薬理遺伝学的研究(改定第8版)		
研究の概要	認知症治療薬ドネペジル塩酸塩の薬物動態と有効性は患者個々で大きく異なる。そこで本研究は薬物動態と薬剤応答性に関わるタンパクをコードする遺伝子配列の解析を行い、心理症状との関連について検討する。さらにメマンチン塩酸塩についても同様に血中濃度を測定し、薬物動態に影響を及ぼす因子を探索する。	
判定	承認	本申請は承認された。